

MediaNet

No.29 | 2022

慶應義塾大学メディアセンター
Keio University Media Center

特集

学術コミュニケーションを支える： 研究・教育活動に参画するメディアセンター

研究(学術)データ管理
—慶應義塾ではじまり—

電子ジャーナルのオープンアクセスをめぐる動き
—転換契約とKOARA—

メディアセンターと研究業績調査の関わり

世界大学ランキングと大学図書館

授業資料リスト管理システムLegantoの導入から展開へ

著作権リテラシー育成への取り組み

スタッフ座談会：
コレクションビルディング(蔵書構築)に携わる者として



表紙の写真：矢上キャンパス創想館（14棟）

矢上キャンパス正面に位置する創想館は、中央にガラス張りの楕円ドーム構造建築、左右に煉瓦調外壁のウェストウィング・イーストウィングからなる理工学部シンボルの建物である。理工学メディアセンター（松下記念図書館）へは、この楕円ドーム建造物内を通して入館する。入館してすぐのイーストウィング1階には広々とした学習エリアがあり、その先は2021年に開設50年記念を迎えた松下記念図書館本館（15棟）へとつながっている。

新旧世紀の橋渡しの年である2000年1月に竣工した創想館は、過去の研究を受け継ぎながら新しい時代を「創造・想像」する理工学部・理工学研究科の教育と研究の拠点である。その中に在る理工学メディアセンターも同じ使命を担い、伝統を大切にしながら持続的な発展を遂げる組織として歩み続けていきたい。

（理工学メディアセンター 岡本聖）